
文 芸 展 & 茶 席

俳句・華道・短歌・川柳・盤景・美術

令和7年10月31日(金)～11月4日(火)

午前10:00～午後5:00(4日は午後3:00まで)

テクノプラザかつしか・展示ホール

区民の方々の作品を展示しています。
作品をご覧になり、憩いのひとときをおすごしください。

茶 席 1日(土)～2日(日) 午前10:00～午後4:00
(最終席入 午後3:30)

お茶はいかがですか。どうぞお立ち寄りください。

俳	句	P 2～3
短	歌	P 4～5
川	柳	P 6
華道・茶席		P 7
盤	景	P 8
美	術	P 9
会場レイアウト		P 10

◆ 俳句

秋に入る朝吹く風に違いあり 福永 泰子

秘め事を見せず女の踊り笠 山田 米子

朝顔や支柱を越えて気のままに 荒木 美智子

寝苦しき夜が明ければ今朝の秋 榎本 武明

水恋うはベランダの花秋暑し 鐘ヶ江 健児

秋風鈴諦めきれぬ余生かな 川木 礼子

待ちわびた予約の図書と秋に入る 小関 幹子

今朝の秋蕎麦の畑は白い波 小林 俊樹

故郷の駅舎に立てば今朝の秋 佐藤 幸子

この気温苦瓜ほどの味となれ 永野 一郎

秋立つや休暇の子より便りなし 高橋 千賀子

秋立つや風車が並ぶ旅路ゆく 堤 周子

八十円！マリーゴールド買おうかな 福島 美由紀

紫陽花は雨と遊んで七色に 丹羽 静代

エアコンの風を避けつつ犬留守居 二見 しづ子

目が覚めてクーラー風を直す夜 近久 豊子

あまりにも暑き日差しや死ぬ思い 宮木 宏之

水田に雲をうつして夏の山 米山 とも枝

新涼や季節の移り肌で知る 佐藤 和生

の部 ◆

座禅組む少年一人涼新た 高橋由紀子

新涼や髭なびかせてハイヒール 富沢尚子

我が町の老舗喫茶の夏氷 船隈文雄

さまざまなこと受け入れて朝の秋 松本紀子

新涼や森の安らぐ朝かな 丹羽昌子

切花の枯れゆく速さ大暑かな 鳥羽範子

手招きをされて輪の中盆踊り 桐山佳代子

盆踊り竹馬の友にハグをする 河野千恵子

下駄の音リズムに乗せて盆踊り 小森貞子

役目終え櫓解かれし盆踊り 櫻井よし子

能登の街天まで届け盆太鼓 佐藤政志

車椅子腕と笑顔の盆踊り 寺嶋理香

夏の夜に菊の大輪隅田川 藤田達枝

寂しげに夏花生える花屋敷 伊藤順子

鶯の鳴く声探す露天風呂 稲田良作

風薫る舎人ライナー一人旅 稲田美保子

桜雲競うが如し古木かな 榎本綾子

炎昼や裏の鉄扉に蔓のびる 岡澤龍雄

久しぶり夫婦で歩く夜店かな 笠井祥子

梅雨明けて貴方に会いに急ぐ路 斉藤由利子

熱帯夜眠れぬ頭中は渦 佐藤悦子

粥めしにひと匙入れる山椒の実 田中裕子

そよそよと緑のエキスタだよひて気分の宜し今のそよ風
今はまだなにを食べてもおいしいと思へる我が身のいとほしき

佐藤 保子

猛暑の日午後にふった雨の音静かにきいてるバラの花木が
バラの木の根の成長を守るためマリーゴールドがそばで生きるよ

杉山 敦子

今年こそ旅行たびにゆきたし孫や子と足腰弱るにストップかけて
旅心さそふチラシが駅えきにあり夢のふくらむ老いの身わすれて

鈴木 算枝

積み残し見切発車の線り返し胸に降り積む忘れ物の山
わるいものみんな私が持つて行く母が残した最後の言葉だ

田中 忠則

温泉の朝湯は湯気が立ち込めてひとりの世界繭玉の中
目を閉じてお湯のせせらぎ聞きながら「寝ころびの湯」にこころほどける

西村 幸子

淹れたてのコーヒーの香とモンブランケーキは美味で至福の三時
パラパラと雨降る音にひとつ傘身を寄せ歩く愛のリズムで

丸山 恵司

長谷寺の灯明に浮かぶ半眼のみ仏は我の何見とほすや
雨後の苔濃みどり色に輝やけり仁和寺の庭朝の装ひ

宮崎 浩子

一本の山道下れば阿武隈の源流近く湯宿がありぬ
音たてて阿武隈川は流れゆく県境越えて海に出るらし

山崎 恭子

七五三を目前にして旅立ちし弟の霊みたまは星になりたり
あの星は弟の星と仰あやぎつつ道標みちしるべとして家路を急ぐ

村田 泰代

核弾頭四千発が発射待つといふ地球上人類の自滅許さず
貫きしわが歌の道雨に風に拙つたなき歩みつたなく詠みき

木下 孝一

縁台で汗をふきふき飲むコーラかすかに聞こゆ風鈴の音ねいろ
ハグをして孫のぬくもりつたわりてサイクリングはたのしかつたね

秋山 与吏子

下総と武蔵を分ける隅田川 両国橋に富士仰ぎたり
湧水ゆゑが山葵わさび育てる安曇野に「いわさきちひろ」美術館訪とう

上原 厚美

庭の木のモクレン大きくなりすぎて上部を切れば青空みえり
利根川を左に見つつバス旅行遠くに森あり人影みえず

上原 哲夫

水元に嫁ぎ来し頃二階より富士仰ぎたり今は昔に
短歌うたといふ打ち込めるものある暮しあしたを信じ進まんで行かう

遠藤 桂子

挨拶のまぶしき子らやかつてこの小学校に亡母は勤めき
小学校教師でありし吾が母はまだまだ生きる千の記憶に

大谷 悦子

沖合の小さく灯る漁火に大漁願ひ残り酒飲む
釣人ら集つて競ふ大物を挙る歓声光る銀鱗

大塚 栄

若い頃旅は思い出作りだが今は令和の船でゆらゆら
念願の大阪万博に着き大屋根のリングより眺めに胸おどらす

菊田 まさ子

乗りなれた通勤バスの同じ席今日も変わらぬ同じ風景けしき
病む猫を腕に抱きしめ雨の中バスにも乗れずひたすら歩く

小林 公子

わが祖おやの出いでしところにあらねども何故かなつかし猪苗代湖は
湖の西の丸まるき山夕つ日に薄紅させる菩薩のごとあり

小林 敬枝

◆ 川 柳 の 部 ◆

オイなんて言わないでねと釘刺され

新井千恵子

聞くふりも芸の域なり夫婦仲

阿相 奏暇

赤線や手垢が残る英和辞書

石毛 克政

残業と宣う亭主朝帰り

石毛 宗典

根っからの正直者は言えぬ世辞

江川 静子

ふるさとの顔消す駅のリニューアル

大坂 泰世

散歩道変えて歩けば脳刺激

岡本 作良

暑中より猛暑見舞いで出すハガキ

鎌田 裕子

サギ行為流れを止める知恵探る

菅野 梶子

コンサートタクトに首も弧を描く

熊谷 たかこ

宿の朝餉 地産地消の豆腐汁

倉林 おさむ

墓参り帰路にひなびた蕎麦すする

栗林 むつみ

来ないかと諦めていた秋が来た

桑山 桑の実

子に電話して振り込みを叱られる

小池 主計

親心ぼんぼん育て半世紀

坂入 真琴

祝福の大歓声にパパの顔

鈴木 ただし

夏休み子供天国親地獄

添田 二三子

小麦色悔いて戻らぬ白い肌

武井 まちこ

年金の許容範囲で流すカネ

田中 祥元

猛暑去り山に降り積む黄金色

栃原 輝昭

歳を経て灯籠流し父母想う

中村 文也

年金が突然気前よく奢る

西室 町子

トランプに世界秩序がゆさぶられ

丹羽 勝

きつかけを作れば上げる重い腰

林 昌代

ときめきも疑ってみる不整脈

馬場 憲治

小春日はふるさとの空秋あかね

日笠 よし子

猫にエサやってかみさん寝てしまい

松橋 帆波

着てみたら白いTシャツ若く見え

矢代 やじ

世の中のお金が動く選挙前

山口 延江

温暖化進めば沈むマンハッタン

山本 敏男

制服のボタン一つに恋心

吉川 範子

幸せとは余分なココロ流すこと

吉川 悠子

◆ 華 道 ◆

流 派 名				出 品 者 名								
池				坊	加藤木 満野							
池				坊	嘉野 紅沙							
古	流	松	瀨	会	榎木 理興							
古	流	清	和	会	河角 理里美							
柳		古		流	小林 一幸							
清	風		瓶	華	池田 尚聡							
草		月		流	米山 照倫							
草		月		流	服部 香照							
草		月		流	木村 虹峰							
草		月		流	石川 翠峰							
草		月		流	石井 文峰							
草		月		流	津田 紅星							
草		月		流	久保 絢乃							
草		月		流	宇佐見 虹則							
草		月		流	老川 照昆							
草		月		流	小池 松美							
草		月		流	鈴木 美照							
草		月		流	渡邊 美幸							
花	芸	安	達	流	矢作 蘭瞳							
花	芸	安	達	流	小曾根喜代瞳							
花	芸	安	達	流	高柳 春瞳							
花	芸	安	達	流	三浦 美瞳							
京	大	覚	寺	嵯	峨	御	流	王	静	甫		
ア	レ	ン	ジ	メ	ン	ト		あ	ざ	み	亜	星
ア	レ	ン	ジ	メ	ン	ト		谷	口		佳	子
ア	レ	ン	ジ	メ	ン	ト		石	橋		有	見
ア	レ	ン	ジ	メ	ン	ト		伊	藤	久	美	子
ア	レ	ン	ジ	メ	ン	ト		栗	原		彩	

茶 席 11月1日(土)~2日(日)

11月1日(土) 裏千家流 石井 宗翠

11月2日(日) 表千家流 鈴木 宗京

テクノプラザ かつしか 展示ホール

午前10時~午後4時(最終席入り 午後3時30分)

◆ 盤 景 の 部 ◆

氏 名	作 品 数
盤 景	
池田 絹川	2点
村田 泰代	1点
梅澤 恭子	2点
日下 耕太郎	1点
入澤 良子	1点
大澤 直美	1点
千 依	1点

◆ 美術 の 部 ◆

作 品 名 氏 名

水 彩 画

仲よし兄妹 レオ&ライヤ 折田 八重美
花・シクラメン 黒川 美津子
語 ら い 中瀬 敏子

油 絵

甘い予感 梅本 加奈
手のひらに 片桐 すみ子

つまみ細工画

鳳 凰 (ほうおう) 高橋 聖

刺 繍

孔 雀 林 瑤 林
見 返 り 美 人 山本 清江

文 化 刺 繍

ば ら 成田 良子

ポ ジ ャ ギ

か ざ 車 薄葉 博子
彩 り (いろどり) 田村 妙子

木 彫

釈 迦 牟 尼 佛 高橋 圭示
菱形レリーフ ばら 中指 栄
バ ラ 長谷 晴子

そ の 他

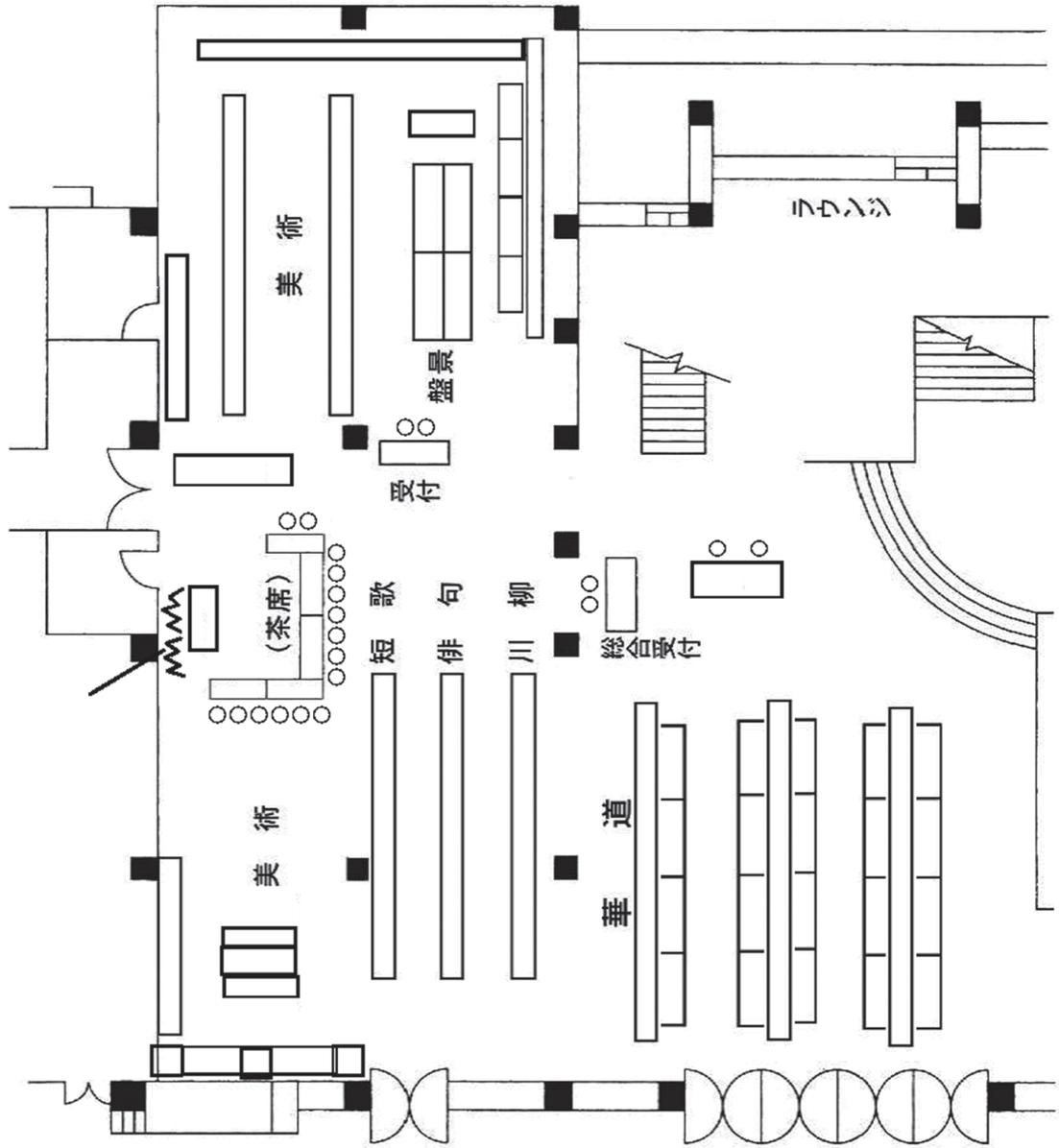
北千住の踏切と小田急の踏切 吉川 侑輝

作 品 名 氏 名

パッチワークキルト

気 球 秋元 真由美
オリエンタル・リリー・ガーデン 安部 久恵
クリスマスツリーのタペストリー 市原 光子
フラワーガーデン 伊藤 眞由美
花 キ ル ト 稲垣 百合子
海 の 花 井上 忍
盛 夏「暑い夏」 上村 信子
願 い 星 薄井 美代子
ステンドグラスキルト 岡野 恵子
神殿の彼方…悠久の時 加藤 君代
i r o d o r i 北堀 瞳
めぐり逢う光 草野 節子
大正ロマン、うふふ! 黒沼 幸子
朝露のささやき 佐川 清子
ちりばめた小花 柴田 知子
円 (そら) 2 杉江 美智子
絵画風バック 副島 安代
燕やひらりひらり風車 高橋 知江子
やさしい夢 高橋 美紀江
Nalu 幸せを運んでくる波 舘坂 雪枝
輝 中澤 治枝
や す ら ぎ 花田 茂子
レイモンドの花 樋口 友子
安らぎの時 前田 良子
和 ご み 吉永 安子
ボルチモア・アルバム 和久田 梅子

配置予定図 (テクノプラザつか 展示ホール)



※作品数等により
レイアウトを変更する
場合がありますので
ご了承下さい。